

丸亀市みんなの劇場開館準備事業 演劇公演

タブデライオールズ

2023.5.12金>>>13生

丸亀市生涯学習センター 3階ホール

[料金] 無料(要予約) [定員] 各100名

脚本•演出:仙石桂子 (四国学院大学社会学部 准教授)

ステージング: 白神ももこ (モモンガ・コンプレックス)

^{適劇} 四国学院大学学生 × ^{例NPO法人SAJA就労継続支援B型事業所たんぽぽぽ}

四国学院大学学生とたんぽぽの皆さんでつくる3つのストーリー







料金

無料(要予約) *対象年齢:中学生以上

予約開始

2023年 4月12日(水)開始

公

斯団法·

丸

亀市福

祉事

業

寸

就労

継続

支援B型事業所

たん

If

ぽ

四 亀 国 Р 学院 0 法 人S Α

演劇のエッセンスを福祉活動にどう活かすことができるのか。演劇的な手法を用いて3年間にわたる対話の 積み重ねによる「人と人との関係性の構築」の結果として生み出された作品を丸亀市で再演いたします。

私たちがここで出会うのは「精神障害者」の物語ではなく、目の前で演じられる「ひとりの人」の人生と つながる私たちそれぞれの物語なのです。

一 西谷清美(NPO法人SAJA 就労継続支援B型事業所たんぽぽ 理事)

出演

四国学院大学 学生

就労継続支援 B型事業所 たんぽぽの皆さん

北村茉由 (劇団オムツかぶれ)

永田マミ (即興パフォーマンス集団 :D〈コロンディー〉) 渡猛

(即興パフォーマンス集団 ロクディム共同主宰)

スタッフ

四国学院大学学生 舞台美術:本間智美 照明:西山和宏(ミュウ・ライティング・オフィス) 音響: キタノタダユキ 演出助手: 沖野まや(劇団オムツかぶれ) 竹葉香里(劇団オムツかぶれ)

|あらすじ

町村さんのお話

町村修は、大学生で統合失調症を発症し、3度の入院を繰り返す。そのたびに彼はその場から逃げたくなる。なぜなら彼には大好きな場所があって・・・。

柿沼さんのお話

柿沼正志の家族は年功序列と高学歴優先で成り立っている。その中で、彼はいつでも一番下の立場にあって、家族の言いなりに。「やりたいこと」をするのってこん なに難しかったのか。

後藤さんのお話

後藤桐子は調子が悪くなると片付けができない。でも、彼女は働きたい。できることは何なのか模索しながら、恋愛もして、結婚もしてみたけど、「普通に生きる」ってな んなのか。

 \Box 時 2023年5月12日金 19:00 13₌ ± 14:00 *

※受付開始・開場は開演の45分前

★ アフタートークあり

終演後、30分程度のトークショーを予定しています。

ゲスト: 仙石桂子 (四国学院大学社会学部 准教授) **西谷清美** (四国学院大学社会福祉学部 教授)

●四国学院大学身体表現と舞台芸術メジャー (通称:演劇コース)

中四国地区唯一の本格的な演劇コースで、舞台芸術界の第一線で活躍する講師陣の演劇やダンスに触れ、トップレベルの実践的教育を受けるコースです。プ ロの演劇人を育てるだけでなく、演劇を通じて学生の 感受性や表現力を磨き、コミュニケーション能力を伸ば し教育、福祉、一般企業と様々な場面で発揮し、社会 に貢献できる人材を育成しています。

会 場

丸亀市生涯学習センター 3階ホール (香川県丸亀市大手町二丁目1番20号)



●NPO法人SAJA就労継続支援B型事業所たんぽぽ

前身は、1990年に精神障害者家族、支援者、市民等の協働によって開設された精神障害者共同作業所「たんぽぽ」。その後、移転や制度改変による存続の危機を乗り越えて、2006年にNPO法人化。2008年から就労継続支援B型事業所として利用者の生活支援、就労支援ならびに地域福祉の表現を展開、財産のとは対策を開発して対策を開発して対策を表する。 活動を展開。駄菓子屋店舗運営、施設外就労、クッキーの製造販売、手芸品の制作等の他、クラブハウスや地域交流活動、研修会の開催、当事者研究ミーティング等を実施。「誰もが人生の主人公」をモットーに活動中。

ご予約・お問い合わせ

丸亀市産業文化部 文化課 市民会館開館準備室 TEL0877-35-8708 FAX0877-24-8863

E-mail: kaikankensetu@city.marugame.lg.jp





